

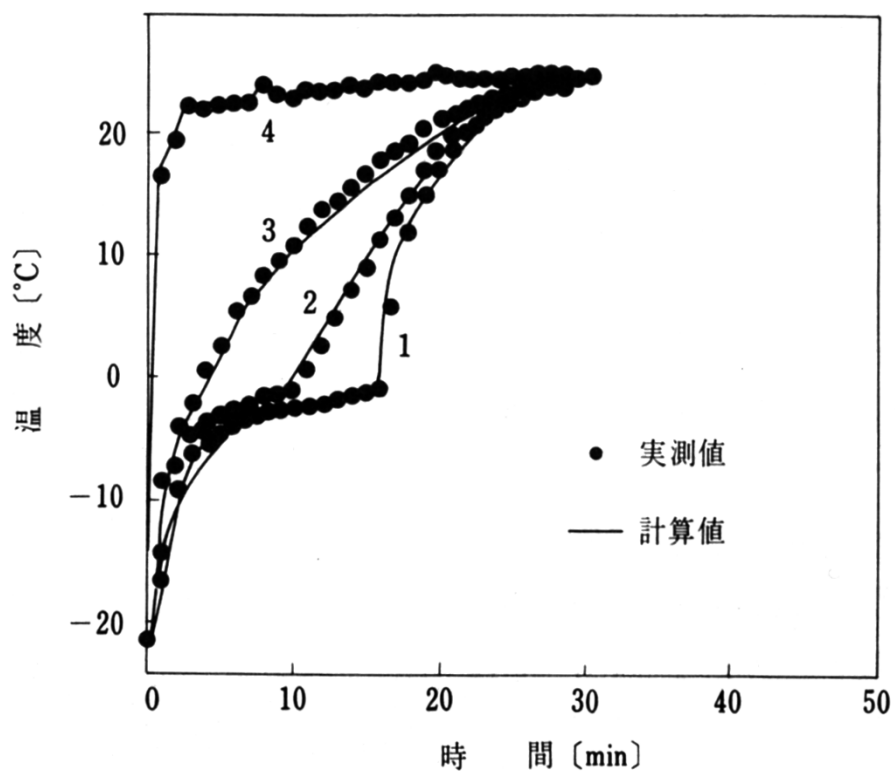


図6 モデル食品の解凍曲線

試料は図4と同様の円柱状ゲルである。温度測定点は、円柱の中心点（曲線1）、中心軸から側面に向かって8mm（曲線2）、11mm（曲線3）、および試料を充填した銅管の外表面（曲線4）の4点である。

（田中史彦，田村 敏，羽原一宏，内野敏剛，非定常熱伝導理論による食品の解凍過程の解析，日本食品科学工学会誌，**42**, 977-981 (1995)）